

那覇市長 宛

令和8年9月18日

団体名 一般社団法人SWITCH Labo.

代表者 代表理事 久高有加

担当者 久高・中井

「なは市民活動支援事業」

中間報告書

令和8年8月21日付け、那覇市指令市第1794号で交付決定の通知を受けた当該事業について、現時点での進捗を下記のとおり報告します。また、市ホームページへの掲載を承認し、中間報告会で他団体とも内容を共有します。

1.事業名	エシカルベジミール共創プロジェクト
2.実施内容	・実証協力企業としてUSEN沖縄カンパニーに個別相談・調整を実施。 ・実証協力企業募集に向け、募集要項、チラシ、ホームページ記事を作成・公開。 ・デジタルはるさー協同組合と連携し、県内農家の野菜でこの時期に取り扱いのある品種を確認しながら、メニュー候補を検討。 ・現在のメニュー候補は、かぼちゃスープ、ニラとコーンと玉ねぎと人参のスープ、小松菜とにんじんの胡麻和え、オクラとしめじと玉ねぎのバター醤油炒めの4種。 ・野菜摂取量を+100g目指すメニューを、毎週20食程度、8週間にわたり冷凍状態で企業へ届ける提供設計を整理。 ・導入前後アンケート案を作成し、食事への意識変化や職場での受け入れやすさを確認する予定。
3.事業を一言で表現すると	県産野菜等を活用した冷凍メニューを職場へ届けることで、従業員が普段の食事に野菜をプラスし、健康づくりとフードロス削減につなげる。
4.これまでの活動の振り返り	・実証協力企業としてUSEN沖縄カンパニーからエントリーがあり実行に進む。 ・デジタルはるさー協同組合と連携し、県内農家の野菜の取り扱い時期に合わせたメニュー候補を検討できた。 ・「+100g」「毎週20食」「8週間」「冷凍提供」という実証設計を整理できた。 ・調達可能な品種、仕入量、冷凍後の品質を確認しながらメニューを最終決定する必要がある。 ・USEN社内での保管、配布、声かけ、アンケート回収の流れを事前に明確にする。 ・回答負担を抑えながら、効果検証に必要なアンケート項目を整理する。
5.今後の活動予定（事業期間内又はすでに終了した団体については次の予定）	・9月下旬以降：メニュー候補の試作、原材料調達、冷凍適性・解凍後の品質確認を行う。 ・実証開始前：USEN沖縄カンパニーと提供方法、対象者、冷凍保管、配布方法を調整し、導入前アンケートを実施する。 ・実証期間：毎週20食程度を8週間、冷凍状態で提供し、従業員の反応や運用上の課題を確認する。 ・実証終了後：導入後アンケートを実施し、意識変化、満足度、継続意向等を集計して成果を整理する。
6.活動写真（簡単な説明文を記入）	メニュー候補の試作  
7.今回の達成目標（当初の事業計画書に記載した目標）	※当初計画と予算が異なるため、KPIは調整中 野菜摂取量 + 100gを目指したメニューを、毎週20食程度、8週間にわたりUSEN沖縄カンパニーへ冷凍状態で提供予定。
8.現時点の目標達成度（例：60%達成）	約40%達成。実証協力企業の候補調整、農産物連携、メニュー候補、募集・HP公開、アンケート設計は進行中。今後、試作・冷凍適性確認・実証提供・効果検証を実施する。